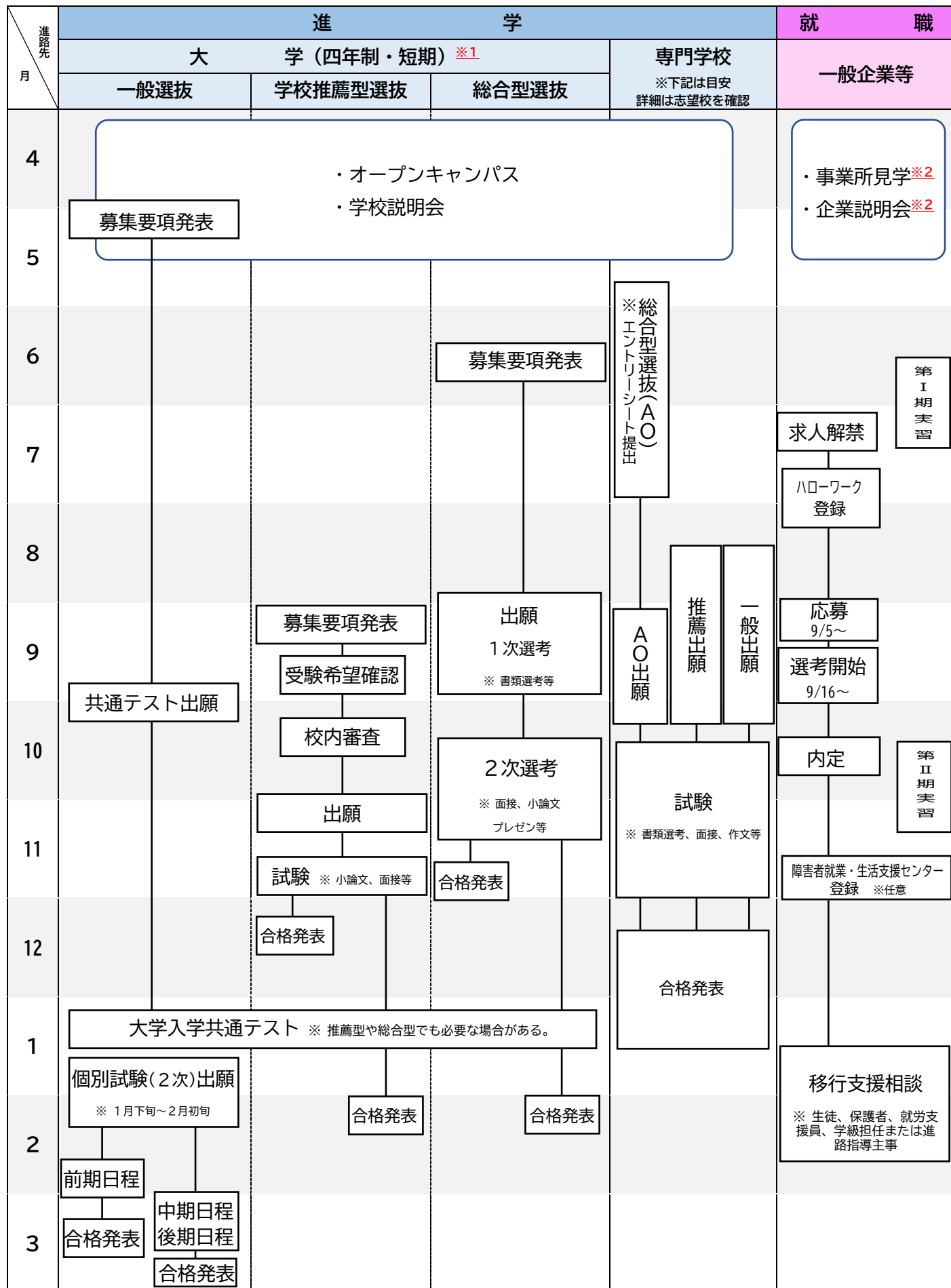


	進学希望	就労希望	障害福祉サービス利用希望	
			福祉的就労	生活介護等
1 年 前期	- 学力と応用力の向上を図る。 - 各種検定を受験し、資格を取得する。 - 自己の能力と適性を知る。 - 自分に合った進学先を考える。	P 検や MOS 資格等、就職に役立つ各種検定について調べる。	第Ⅰ期進路体験実習（校内実習：生徒の実態、進路想定により各実習班での実習）	
			進路体験実習（校内実習）等を通して自己の適性を知り、将来の進路選択に生かす。 実習報告会等を通して、おおまかな自分の進路先（校外実習先）について考える。	
1 年 後期			第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
		校外実習を通して、将来、働くことについて考え、自己の能力と適性を理解し、将来の仕事の適性を踏まえ、進路選択に生かす。	「障害福祉サービスの利用、福祉事業所の見学」 ※ 継続的に！ 【日中一時支援、放課後等デイサービス、短期入所等】 ・福祉事業所の様子を知ることができる。 ・福祉事業所の職員が生徒の実態を知る機会になる。 【就労移行支援、就労継続支援 A 型、就労継続支援 B 型、生活介護等の障害福祉サービス】 ・在学中は利用できないので、できるだけ福祉事業所の見学やイベントに参加することを推進する。	
2 年 前期	自分の進路先の通学・通勤の方法を考え、必要に応じて、運転免許の取得方法や手続きの仕方について学習する。	希望の職種や進路先に就職するために必要な検定、資格等を調べる。	進路希望や卒業後のスケジュールを想定し、校外実習先を決める。	
			第Ⅰ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
			進路希望や卒業後のスケジュール、第Ⅰ期の実習経験などから、次回の校外実習先を決める。	
			第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
2 年 後期	- 志望校の決定と受験の対策（論文、面接、配慮申請等） - 受験科目の重点学習	希望の職種や進路先に就職するために必要な検定を受験したり、資格を取得したりする。	進路希望や卒業後のスケジュール、2 年生の実習経験などから、次回の校外実習先を決める。	
			第Ⅰ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
			進路希望や卒業後のスケジュール、これまで実習経験などから、次回の校外実習先を決める。	
			第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
3 年 前期	- 受験の準備 - 入学試験	障害者雇用に向けて、一般事業所と雇用条件等を最終調整する。	第Ⅱ期進路体験実習（校外実習）（校内実習）	
		就職内定者は、障害者就業・生活支援センターへの登録を勧める。 ※ 強制ではない。	「進路希望最終確認票」を取りまとめ、卒業後の進路先を決定する。 福祉事業所に最終的な受入れを依頼し、利用する曜日等について調整して決定する。	
			進路先が決まっていない場合、必要に応じて臨時的校外実習を実施する。	
			卒業後の進路先で移行支援相談を実施する。（参加者：生徒、保護者、学級担任、相談支援専門員、又は就労支援員）	

進路決定の流れ（進学・就職）（具体的な実施時期については、志望校の日程をよくご確認ください）



※¹ 私立大学については、各大学で設定しているため、受験の流れが上記と異なる場合があります。

※² 一般企業等の見学や説明会への参加は、学校を通して行います。ご希望の際は、担任または進路担当までご相談ください。